



# 心ゆたかな たくましい子

学校便り 11月号  
平成30年11月5日  
御前崎市立浜岡東小

## 東京でも見せた6年生の力

校長 岡本 敦子

11月1、2日は6年生の修学旅行でした。修学旅行は、友達との楽しい思い出づくりの場でもあります。大きな目的は、6年間の学習を發揮し、自分を更に成長させることです。

この2日間を振り返って、6年生の力を再確認できました。

### 【考えて行動:気持ちの切り替え】

- ・ハブニングを引きずらず、やるべきことに集中。
- ・新幹線、電車などの周りに配慮した過ごし方。
- ・約束の時間を守って全員が完璧に集合。

### 【支え合い:絆を深めた】

- ・皆の修学旅行だから大切にしようという意識。
- ・失敗から学ぶ友達を支える優しさ。

### 【探究心】・国会での質問の多さ。

※こんなに質問の多い学校は初めてでした。



地区出身の国会議員の話に真剣に耳を傾ける子どもたち

- ・班行動では計画外の事があったけど、よい判断ができたのでよかったです。(光汰)
- ・班で協力して、次をどうするか班員と話し合う事ができた。支え合う事ができた。(瑞季)
- ・道に迷ってしまった事もあったけど、東京の人に聞いて目的地に着けたのでよかった。(誠輝)



## 読み聞かせは、面倒だけど効果は絶大！後からじわじわと

読み聞かせは効果があるって知っていても、親の立場ではなかなか面倒です。でも、効果は絶大です。積もりに積もってその効果は後からじわじわ表れてきます。改めて読み聞かせの効果を紹介します。

読み聞かせでいろいろなお話を聞く事により、自然とたくさんの言葉に出会い、日常では使わない言葉も知り、自分でも使う事ができるようになります。こうして語彙が豊富になると、コミュニケーション能力が増します。このことにより、自分の気持ちを伝えやすくなり、イライラも減ってきます。

また、物語の先を考えてドキドキわくわくする中で想像力がどんどん豊かになります。そして、物語に触れる中で登場人物の気持ちに寄り添うことで、優しい気持ちや思いやりの心が育ちます。

さらに、意外な事実を知る事により知的好奇心や発想力が向上します。これらが学習に対する意欲のもとになります。言葉があまり理解できなかったり、動くのが大好きだったり、読み聞かせに慣れていないお子さんの場合は、最初は読み聞かせていても次のページをどんどんめくっていったり、飽きて途中でどこかへ行ってしまふことがあります。そこで「うちの子本が嫌いみたい」と思う必要は全くありません。初めはそういうお子さんも、翌日また読んであげる、ダメなら次の日も…と繰り返すうちに、だんだんと絵本や物語に興味を持てきます。そしてお話がわかるようになる頃には集中力もつき、物語に入りこんでまるで主人公になったかのように、色々なことを感じていくことができるようになります。理想は小学校4年生まで続けるといいそうです。そして、読み聞かせによる学力の貯金は、なんと中学3年生まで有効だそうです。今日から、始めませんか？